令和２年度（2020年度）

第２回 熊本市社会教育委員会議

日時：令和3年(2021年)3月23日(火) 14:00～
場所：熊本市教育センター 3階 第1研修室

生涯学習課

目　　次

ページ

令和２年度熊本市社会教育委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

令和２年度熊本市社会教育関係課組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

【 議　事 】

令和２年度学校・家庭・地域連携協力推進事業等の実施について ・・・・　４

・学びたいむ（指導課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６

・放課後子どもスポーツ教室（スポーツ振興課）・・・・・・・・・・・・・　７

・子ども科学・ものづくり教室（熊本博物館）・・・・・・・・・・・・・・　９

・公民館子ども講座（生涯学習課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

・子どもチャレンジ公民館（生涯学習課）・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

・家庭教育支援活動（青少年教育課・生涯学習課）・・・・・・・・・・・・１２

・放課後学習教室（子ども政策課）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４

【 報　告 】

金峰山少年自然の家整備に伴う基本計画（素案）について

・金峰山少年自然の家の基本計画（素案）について（概要版）・・・・・別冊１

・金峰山少年自然の家の基本計画（素案）について ・・・・・・・・・別冊２

参考資料（関係法令）

熊本市社会教育委員名簿

（敬称略　順不同）

区分	氏　　名	所属団体・役職等	備　考
学識経験者	八幡　彩子	熊本大学大学院教育学研究科 教授 熊本大学教育学部附属特別支援学校 校長	※１
学校教育	諏訪園　勉	熊本市中学校長会 熊本市西山中学校 校長	
社会教育	山川　李好子	熊本市地域婦人会連絡協議会 副会長	
社会教育	加藤　貴司	熊本市地域公民館連絡協議会 会長	
社会教育	小澄　直	一般社団法人熊本青年会議所 副理事長	
社会教育 家庭教育	髙木　徳文	熊本市家庭教育地域リーダー	
社会教育	吉村　圭四郎	熊本市青少年健全育成連絡協議会 会長	
社会教育 家庭教育	橋口　健二	熊本市ＰＴＡ協議会 副会長	
市民公募	田中　洋子	市民公募	

【任期】令和元年（２０１９年）６月　１日から令和３年（２０２１年）５月３１日
令和２年（２０２０年）８月２７日から令和３年（２０２１年）５月３１日（※１）

令和2年度社会教育関係課組織図

- 文化市民局
  - 市民生活部
    - 生涯学習課
  - 文化創造部
    - 文化財課
- 教育委員会事務局
  - 教育総務部
    - 教育政策課
      - 公民館
    - 青少年教育課
      - 金峰山少年自然の家
    - 図書館
      - 植木図書館
      - とみあい図書館
    - 博物館
  - 学校教育部
    - 指導課
- 健康福祉局
  - こども未来部
    - 子ども政策課
- 経済観光局
  - スポーツ・イベント部
    - スポーツ振興課

令和2年度社会教育関係課組織図

- 中央区役所
  - 区民部
    - 中央区まちづくりセンター
      - 五福交流室（五福公民館）
      - 大江交流室（大江公民館）

- 東区役所
  - 区民部
    - 託麻まちづくりセンター（託麻公民館）
    - 秋津まちづくりセンター（秋津公民館）
    - 東部まちづくりセンター（東部公民館）

- 西区役所
  - 区民部
    - 西部まちづくりセンター（西部公民館）
    - 河内まちづくりセンター（河内公民館）
      - 河内交流室
    - 花園まちづくりセンター（花園公民館）

- 南区役所
  - 区民部
    - 富合まちづくりセンター（富合公民館）
    - 飽田まちづくりセンター（飽田公民館）
    - 天明まちづくりセンター（天明公民館）
    - 幸田まちづくりセンター（幸田公民館）
    - 城南まちづくりセンター（城南公民館）
      - 城南交流室
    - 南部まちづくりセンター（南部公民館）

- 北区役所
  - 区民部
    - 植木まちづくりセンター（植木公民館）
    - 北部まちづくりセンター（北部公民館）
    - 清水まちづくりセンター（清水公民館）
    - 龍田まちづくりセンター（龍田公民館）

議　事

学校・家庭・地域の連携協力推進事業等の実施について

１　社会教育委員会議での検討について

地域と学校の連携・協働体制構築事業及び地域における家庭教育支援基盤構築事業については、文部科学省が定める学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金実施要領（令和２年３月３１日文部科学省総合教育政策局長・初等中等教育局長決定）に基づき実施しており、社会教育委員会議では、地域学校協働活動の総合的なあり方や各地域学校協働活動の実施方針等について検討する。

※地域学校協働活動

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動

２　地域学校協働推進事業について

（１）概要

幅広い地域住民や企業・団体等の参画により、子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を一体的に推進するものである。また、本活動を通じて、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子供たちが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

（２）実施（運営）主体

都道府県、政令指定都市又は中核市（間接補助事業として行う場合は市町村等を含む。また、事業の一部を適当と認められる社会教育団体等に委託して行うことも可能）

（３）国庫補助率（国庫補助金名）

予算補助１／３（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）

（４）本市における学校・家庭・地域の連携による地域学校協働活動

放課後や週末等において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後等の支援活動

（ア）まなびタイム（教育委員会事務局学校教育部指導課）
（イ）放課後子どもスポーツ教室（経済観光局スポーツ・イベント部スポーツ振興課）
（ウ）子ども科学・ものづくり教室（教育委員会事務局教育総務部熊本博物館）
（エ）子ども講座・子どもチャレンジ公民館（文化市民局市民生活部生涯学習課）
（オ）放課後学習教室（健康福祉子ども局子ども未来部子ども政策課）

３　地域における家庭教育支援基盤構築事業について

（１）概要

家庭や地域と学校との連携・強化を図りつつ、家庭教育支援員の養成等を行い、身近な地域における保護者への学習機会の提供や親子参加型行事の実施、相談対応や情報提供等の支援活動の実施に加え、児童虐待の未然防止・早期発見などの対応を含め、支援が行き届きにくい家庭への対応を充実させることにより、地域における家庭教育支援の基盤を構築する。

（２）実施（運営）主体

都道府県、政令指定都市又は中核市（間接補助事業として行う場合は市町村等を含む。また、事業の一部を適当と認められる社会教育団体等に委託して行うことも可能）

（３）国庫補助率（国庫補助金名）

予算補助１／３（学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金）

（４）本市における家庭教育支援総合推進事業

家庭教育支援活動（教育委員会事務局教育総務部青少年教育課、文化市民局市民生活部生涯学習課）

保護者等への家庭教育に関する情報や学習機会の提供、地域で家庭教育を推進するための人材養成など、全ての親が安心して家庭教育を行うための支援活動

学びたいむ（教育委員会事務局学校教育部指導課）

１　令和２年度（２０２０年度）の実施状況について

（１）目　　的　児童の学ぶ意欲の向上や学びの習慣化を目指し、基礎学力の定着を図る。

（２）実施期間　令和２年４月～令和３年３月

（３）実施回数　授業日に、各学校の計画により１回１時間程度
長期休業期間中は、各学校の状況に応じて開催

（４）実施校数　新型コロナウィルス感染防止に伴う臨時休校により、授業時数確保などで令和２年度に「学びたいむ」を実施した小学校は４３校。

（５）実施内容　タブレット学習支援アプリ「ドリルパーク」等を活用した学習指導

（６）実施時間帯

時間帯	授業日 朝自習	授業日 昼特設	授業日 放課後	夏季 休業日	その他
実施学校	6	2	29	12	1

朝自習や月曜および水曜の６時間目等、放課後以外で実施する学校が出ている。

（７）実施校における参加学年及びのべ人数

令和２年度「学びたいむ」に参加した児童数（のべ人数）80,509 人（43 校計）

学年	1年	2 年	3年	4年	5年	6年
実施学校	12	14	40	40	40	40

（８）指導者等　学びたいむサポーター及び教職員

新型コロナウィルス感染防止など、学びたいむサポーターを活用せずに教職員で実施した学校は１５校。（参加校の３４％）

（９）学びたいむ（旧学びノート教室）サポーター登録数　（人）

年度	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
サポーター数	198	197	178	176	158	97

（10）実施時間・サポーターの確保（令和２年７月アンケートから）

①学びたいむの実施時間の確保はどうでしたか。

状況	容易	どちらかといえば容易	どちらかといえば困難	困難
割合	6%	32%	51%	11%

②学びたいむサポーターの確保はどうでしたか。

状況	容易	どちらかといえば容易	どちらかといえば困難	困難
割合	10%	19%	48%	23%

２　令和３年度の実施計画について

・令和２年度に１人１台のタブレット端末の配付が完了した。コロナ禍の折、令和３年度の「学びたいむ」では、タブレット学習支援アプリ「ドリルパーク」を中心教材に、市学力調査の復習プリント、データで配付の「学びノート」等を効果的に活用し、各学校の実態に応じた実施回数、実施時期、対象学年等を各学校で工夫設定して実施する。

・一人１台の実態に応じた学習支援ソフトの活用により、従来の希望者対象の学習から全員対象の「補充学習」への段階的な移行を図っていく。

放課後子どもスポーツ教室（経済観光局スポーツ・イベント部スポーツ振興課）

１　事業内容

放課後子どもスポーツ教室事業は、地域住民が自主運営している「総合型地域スポーツクラブ」や「校区体育協会」等が実施主体となり、小学生対象のスポーツ教室を行い、子どもたちのスポーツ機会の拡充、地域コミュニティーの向上等を目指す。

放課後や休日の学校運動施設を活用することで、子どもたちの安全・安心な居場所づくりを、また、地域の総合型地域スポーツクラブや校区体育協会等が教室運営をすることで、地域住民と子どもたちの交流を図りながら、地域での子どもたちの学びの場を提供する。

スポーツ教室は、原則として課業日放課後に開催。それぞれの教室で、各種運動・スポーツ・レクリエーション活動等を行う。

（１）実施期間　令和２年（2020年）７月～令和３年（2021年）３月

（２）実施場所　各小学校運動場や体育館

（３）対象者　小学３年生

（４）募集定員　各校３０名程度

（５）実施日等　年間２０回実施、　１回２時間程度の活動

月曜日放課後実施

（６）参加費　参加者保険料８００円（参加者負担）

２　活動の実際（各教室の主な活動内容）

中島小学校	バドミントン、ニュースポーツ、バレーボール、ドッチビー、バスケットボール、各種運動遊び
健軍東小学校	ランニング、体幹トレーニング、フラフープ、バレーボール、ラダートレーニング、トランポリン、ボールを使った運動、丸棒を使った運動ボール遊び
龍田小学校	器械運動、バドミントン、ニュースポーツ、バレーボール、ドッチビー、バスケットボール、各種運動遊び

ディスゲッターの様子（中島小）

トレーニングの様子（健軍東小）

とびばこ運動の様子（龍田小）

３　参加人数（３年生児童数）

	中島小	健軍東小	龍田小	合計
参加者（人）	11	10	31	52
在籍数（人）	51	46	114	211
加入率（%）	22%	22%	27%	25%

４　来年度の教室開催について

・スポーツ振興課と運営団体（総合型地域スポーツクラブ等）とで協議し、開催校を選定。

・本年度からの実施校に加えて、来年度の新規校を選定。

・スポーツ教室の開催校（小学校）とも協議し、可能な曜日や時間で開催。

・教室の開催回数は年間２０回を計画。

・１学校につき２年間開催し、その後は運営団体（総合型地域スポーツクラブ等）による自主運営のスポーツ教室へと移行していく。

５　自主運営について

・２年間の委託事業を終えたら、クラブの自主運営にて教室を継続する方向で勧めている。
・市の委託時と同様に、実施会場である小学校と協議し、会場使用可能な曜日で実施予定。（土曜を含む）
・参加費は受益者負担となり、募集定員や実施回数、対象学年等を含め、地域の実態等を考慮し、運営主体団体で検討する。

６　今後の実施計画

・令和３（2021）年度は、継続２校、新規２校で実施予定。

<table>
<tr><th>実施校名</th><th>担当クラブ</th><th>R2
(2020)</th><th>R3
(2021)</th><th>R4
(2022)</th></tr>
<tr><td>中島小学校</td><td>NPO法人スポレク・エイト</td><td>継続2年目</td><td>自主運営へ</td><td rowspan="3">自主運営へ</td></tr>
<tr><td>健軍東小学校</td><td>東部地域総合型スポーツクラブ</td><td rowspan="2">新規1年目</td><td rowspan="2">継続2年目</td></tr>
<tr><td>龍田小学校</td><td>龍田地域なかよしスポーツクラブ</td></tr>
<tr><td>新規校</td><td>（調整中）</td><td></td><td rowspan="2">新規1年目</td><td rowspan="2">継続2年目</td></tr>
<tr><td>新規校</td><td>（調整中）</td><td></td></tr>
</table>

子ども科学・ものづくり教室（教育委員会事務局教育総務部熊本博物館）

１　目的

小中学生向けに「科学実験や科学工作（ものづくり）」等の直接体験の場を設け、子どもたちが楽しく活動しながら、自然科学の原理や技術（歴史や伝統文化に関する内容も一部含む）について学ぶ機会を提供する。

２　令和２年度(2020年度）の実施状況について

年度当初は30回程度の開催を予定していたが、感染症拡大防止のための臨時休館やイベント自粛等により、2月末現在で20回（内、塚原歴史民俗資料館では6回）の実施となっている。運営方法も自由参加（オープン参加）制は見送り、全て事前応募・少人数定員制で行った。そのため、現時点での参加者数は577人で、前年度実績（全28回、2067人）には大きく及ばない。

水と空気、光と色、電気と磁力、さまざまな力などをテーマに、例年であれば「定員制（１回２５～３０名）」と定員を設けない「オープン参加制」の２形態で運営しているもので、崇城大学、NPO団体等との共催事業も行うなど、教室内容の充実を図ってきた。

そのほか、市立の公民館・施設からの要請に応じて別途（数回）出前講座も実施し、本事業の内容に関する周知に努めた。

	教室名	期日(1)	期日(2)	対象者	指導者	参加数
①	おもしろ実験に挑戦！	6月13日(土)	7月25日(土)	〃	研究員	40
②	箱の中に虹を作ろう	6月27日(土)	11月 7日(土)	〃	研究員	30
③	水中ＵＦＯキャッチャーを作ろう	7月11日(土)	8月23日(日)	〃	研究員	40
④	宙返りバードを作ろう	7月18日(土)	3月 6日(土)	小中学生	研究員	22
⑤	コイルモーターを作って回そう	8月 1日(土)	9月26日(土)	一般参加	研究員・ものづくりサークル	36
⑥	液体窒素実験ショー	8月 8日(土)	8月30日(日)	小中学生	学芸員・研究員	114
⑦	大気圧と真空の実験ショー	8月14日(金)		〃	研究員	55
⑧	紙パックカメラを作ろう	9月12日(土)		〃	研究員・ものづくりサークル	22
⑨	葉脈標本でしおりを作ろう	10月24日(土)		〃	学芸員・研究員	25
⑩	風船ＣＤホバークラフトを作ろう	11月22日(日)		〃	研究員	26
⑪	くるくる回るシャボン玉作り	11月28日(土)		〃	研究員・ものづくりサークル	20
⑫	電波教室＆ラジオ作り	12月13日(日)		一般参加	研究員 電波適正利用推進員 アマ無線	24
⑬	静電気実験ショー	12月26日(土)		小中学生	研究員	41
⑭	銅鏡のレプリカを作ろう	2月27日(土)		〃	学芸員・研究員	38
⑮	活性炭電池を作ろう	2月28日(日)		〃	研究員	44
⑯	春の体験ミュージアム2021	3月13日(土)		一般参加	研究員・大学	
⑰	紫キャベツ紙で不思議なお絵かき	3月27日(土)		小中学生	研究員・ものづくりサークル	
	１７題材：２３回			2月末時点	合計(20回)	577人

３　令和３年度（2021年度）の実施計画について

当館の「実験・工作室」と「講堂」及び当館所管の南区城南町：熊本市塚原歴史民俗資料館を会場として全30回以上の教室を計画している（内、塚原：7回）。

今後も理工担当研究員だけでなく、地質・植物・考古・保存科学担当学芸員とも協力しながら内容の工夫・改善を図るほか、大学・高等専門学校等の教育機関、NPO団体等との連携をさらに強化し、より多くの児童・生徒の興味・関心を高め、科学的な探究心の育成にも寄与していきたい。

公民館子ども講座（文化市民局市民生活部生涯学習課）

１ 事業内容

子どもたちにとって充実した休日（土曜・日曜・祝日・長期休業期間）となるように、子どもや親子を対象とした子ども講座や公民館開放講座開催した。
※子ども講座：主に小・中学生（親子含む）対象に開催するもの。
※公民館開放事業：公民館施設（ホール・会議室・ロビー等）を開放し、当日受付にて、将棋、お話会、夏休み学習、大学生企画イベント等を開催するもの。

（１）実施時期　令和2年4月～令和3年3月
（２）実施日　土・日・祝日及び長期休業期間
（３）実施場所　各公民館 等

２ 実施状況（令和3年2月末時点）

（１）概要

各公民館では「いけばな」「硬筆」などの文化的講座や「生物調査」などの体験的講座を開催し、子どもたちにとって充実した休日となる事業の実施に取り組んだ。また「親子プログラミング」などの親子でのふれあい活動を通して、家族の絆を深める講座も開催した。令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために一時休館した時期もあったため、開催講座は減少した。

（２）対象者　幼児、小学生、中学生
（３）指導者等　各講座講師
（４）講座数　66講座
（５）受講人数　967人

中央区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
中　央	科学工作・ものづくり教室	5	22
大　江	池坊こどもいけばな教室・キッズダンス	9	131
五　福	走り方教室（３月開催予定）	0	0
計		14	153

東区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
東　部	やってみよう！トランポリン	2	42
託　麻	小学生のための生け花教室・親子クリスマスツリーパン	4	54
秋　津	小学生書き方教室・よく飛ぶ「こま凧」を作ろう！	6	115
計		12	211

西区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
西　部	子ども硬筆	1	24
花　園	子ども生け花教室	1	12
河　内	キッズトランポリン	1	24
計		3	60

南区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
南　部	いけばな・茶道子ども教室・親子書道	3	60
幸　田	子どもいけばな小原流	2	27
飽　田	親子プログラミング講座・ジュニアダンス	5	105
天　明	親子で体験！干潟の生き物観察教室	3	38
富　合	子ども舞踊・親子こうひつ	4	74
城　南	親子プログラミング体験教室・親子で学ぼう世界の国	2	30
計		19	334

北区

公民館名	主な講座	講座数	受講人数
龍　田		0	0
清　水	親子でプログラミング・子どもお琴	9	43
北　部	星の観察・子どもミュージカルに挑戦しよう	5	79
植　木	子ども体操・お助け夏休みの宿題	4	87
計		18	209

３ 今後の事業実施について

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で当初の計画通り事業を実施することができなかった。今後は感染拡大防止策を踏まえ、事業を実施していく。

子どもチャレンジ公民館（文化市民局市民生活部生涯学習課）

１　事業内容

現代の子どもたちのニーズを事業に反映させ、「プランナー」と呼ばれる子どもたちが主役となって、自らイベント等を企画･運営することで、仲間づくりやイベント終了後の達成感・充実感を味わえる貴重な交流体験の機会の提供を図る。

区ごとに実施中心館を一年交代にして、区の特色を生かしながら事業を実施することで、子どもたちが気軽に利用できる、身近な公民館となるよう取り組んでいく。

（１）実施時期　　令和2年4月～令和3年3月
（２）実施日　　土曜・日曜・祝日及び長期休業期間
（３）実施場所　　各公民館及び館外 等

２　実施状況

（１）概要

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で例年のようにプランナーを募り、継続的に事業を続けていくことが困難であったため、従来の形では実施することができなかった。下表にある西区の事業はエリア内の各小学校でイベントについてアンケートを実施し開催したもので、公民館子ども講座で報告したものと同じ講座である。南区のものは公民館が主催する講座として実施したものである。

（２）対象者　　小学生
（３）支援者　　公民館社会教育主事及びボランティア等
（４）各区の事業（令和3年2月末現在）

■西区　　主担当：河内公民館　支援者：西区社会教育主事・講師　他

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
キッズトランポリン(再掲)	11月8日	河内公民館　多目的ホール	トランポリン体験	24人	2人

■南区　　主担当：飽田公民館　支援者：南区社会教育主事・講師　他

イベント	期日・期間	場所	内容	受講人数	支援者
中牟田閘門へGO!	10月17日	中無田閘門	中牟田閘門でカヌー体験や自然観察など環境について学習する	35人	14人
収穫体験	10月31日	雁回山	雁回山の自然と歴史を学ぶ	18人	5人
クリスマスリース作り	11月28日	飽田公民館　生活工房室	親子でクリスマスリース作りを体験する	18人	3人
雁回山登山体験会	2月27日	雁回山	冬の雁回山登山を体験する	60人	8人

３　今後の事業実施について

本事業は、平成15年度からの継続事業であり、公民館社会教育主事を中心に大学生やＮＰＯ団体等の支援者協力のもと、子どもプランナーが企画会議を経て、イベントを企画・運営する事業として定着している。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で令和2年度は一部でしか事業を実施することができなかった。新型コロナウイルスの感染拡大対策を行い、コロナ禍であっても事業が実施できるように工夫を行わなければならない。

家庭教育支援活動

（教育委員会事務局教育総務部青少年教育課・文化市民局市民生活部生涯学習課）

家庭教育は、基本的な生活習慣の習得、自立心の育成、心身の調和のとれた発達などに大きな役割を担うものであるが、家庭環境の多様化や地域社会の変化により、家庭教育力の低下が指摘され、社会全体での支援の必要性が高まっている。

そこで、家庭教育の担い手である親の学びを応援するため、家庭教育に関する学習機会の提供を行うとともに、身近な場所で家庭教育推進を担う地域人材の育成に取り組む。

１ 事業内容及び実施状況

（１）家庭教育推進事業

ア 家庭教育セミナー

乳幼児期から高校生までの子どもを持つ親を主な対象として、幼稚園・小中学校やＰＴＡ、企業等からの申込みにより講師や進行役を派遣。専門講師による講演会型と、県が作成したくまもと「親の学び」プログラムを活用したワークショップ型がある。

令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により新しい生活様式に対応したオンラインセミナーを開始したものの、令和３年２月末時点での実施件数は５件にとどまっている。

	H30	R1	R2※
件数	72	70	5
参加者数	5,459	6,391	324

※R3.2 月末現在。

テーマ例：家庭でのルール作り、親の役割を見つめる、
SNS 環境下における家庭教育　等

イ 家庭教育地域リーダーステップアップ研修

平成 22～30 年度までの家庭教育地域リーダー養成講座修了生のスキルアップと、人材交流による家庭教育支援の広がりを目的として実施。

（ア）実施期間　３月～４月に動画配信を予定

（イ）主な講座内容　・家庭教育を推進するうえで必要な理論の習得
・ファシリテーション復習～実践等

（２）家庭教育学級

保護者が自ら課題を持ち寄って主体的に計画・運営する学習について支援する。

（ア）開設単位　学校及び幼稚園・保育園

（イ）実施期間　４月～翌３月

（ウ）開設学級数　25 学級（幼稚園 0、小学校 18、中学校 7）※昨年度比 54 減

２ 今後の事業実施について

（1）家庭教育推進事業

ア 家庭教育セミナー

新しい生活様式に対応した、小規模の学習会やオンラインによるセミナー、動画コンテンツの作成に取り組んでいく。また、教育広報誌「with you」を活用し、学校や PTA での利用を促していく。

イ 家庭教育地域リーダーステップアップ研修

家庭教育地域リーダー養成講座については、令和元年度（2019 年度）より休止。

ステップアップ研修は、個々のスキルアップを行うとともに、実践的スキルの獲得ができるよう、講座内容のさらなる充実を図る。また、家庭教育地域リーダー同士のネットワークをさらに強化することで、家庭教育支援活動の広がりを目指す。

（2）家庭教育学級

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開設学級数が大幅に減少した。コロナ禍であっても、新しい生活様式に則った感染防止対策を実施し事業を展開する必要がある。

放課後学習教室（子ども政策課）

１ 令和２年度（２０２０年度）の実施状況について

（１）目的

子どもの貧困対策の推進の取組として、子どもの将来が家庭の環境で左右されることなく、世代を超えて連鎖することがないよう、教職員退職者や大学生等による空き教室を活用した「放課後学習教室」を実施することで、子どもたちの学習の機会の確保と充実、子どもたちの学ぶ意欲の向上や学習の習慣化、基礎学力の定着を図る。

※令和元年度～事業実施

（２） 実施内容

学校の空き教室を利用し、学校での学習に係る予習及び復習の支援、家庭学習や自主学習の支援、その他、生徒の社会性等の向上に係る支援を行う。

（３） 実施期間

令和２年７月～令和３年３月

（４） 実施校数

中学校２校

（５） 指導員

教員退職者（７人）、大学生（２人）

（６） 実績（令和３年２月末現在）

令和２年度	Ａ中学校	Ｂ中学校	合計
実施回数	３４	３１	６５
参加人数	５５８	３５２	９１０

※週２回・１回１時間程度実施

２ 今後の計画について

・令和３年度は上記２校に加え、新たに１校で実施の予定。

・令和５年度までに１０校での実施を見込んでいる。

・引き続き、実施校、教育委員会及び退職校長会等の協力を得ながら、子どもたちの学習機会の充実を図る。